

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台市立町たんぽぽホーム		
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの相談に応じ、面談を随時行っている。	保護者の些細な変化に気づき、タイムリーに相談体制を取っている。また、保護者の思いに寄り添うだけでなく、必要な助言も行っている。	保護者との良好な関係を築くことが不可欠と考えている。適切な助言を行えるよう研鑽を深めていく。ロールプレイを取り入れた保護者面談についての園内研修を行う。
2	分かりやすく活動のねらいやポイントを保護者に伝えている。	活動の前にその日の活動のねらいや見るポイントを分かりやすくボードに記載し説明している。また、午後の設定活動の前にねらいの他に、お子さんの予測される姿やそれに対する対応について保護者と確認している。	マニュアルや文例があることで、職員の経験年数に関わらず、どの職員もポイントを明確に伝えることができている。しかし、画一的になりがちなため、立案時からねらいを明確にし分かりやすく保護者に伝えられるようにしていきたい。
3	親子通園の形態を取っている点。	保護者が活動と一緒に参加しながら、お子さんの姿や支援方法をタイムリーに見る事ができ、保護者のこども理解、家庭での育児のヒントにつなげている。	お子さんの強みだけではなく、苦手さについても保護者と共有できるよう、支援力の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の振り返りやクラス会議、支援会議に時間がかかりがちである。	こまかにお子さんの姿を共有しながら話し合いを行っており、話が冗長になることもある。	ポイントをしぼった会議の進め方を心がけるとともに、予め会議の終了時間を定める、要点をまとめて話すなど、効率的な話し合いの仕方を工夫する。
2	職員により、アセスメント力に差がある。	経験年数の違い、アセスメントシートの項目の内容の捉え方に違いがあるためと考えている。	支援会議の場面で確認をしたり、園内研修を行い、アセスメント力の向上を図っていく。
3			